

# 川上ダム通信

2020  
10  
月号



Vol. 182  
Since 2005



独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所  
〒518-0294 三重県伊賀市阿保 251 番地 TEL: 0595-52-1661 (代)  
川上ダム通信は川上ダムホームページでもご覧いただけます。

<https://www.water.go.jp/kansai/kawakami> 又は「川上ダム通信」で検索  
(右の QR コードを読み取っていただくと川上ダムホームページへ移行します。)



川上ダム公式 Twitter で工事の進捗状況やイベント情報を随時更新中!  
[https://twitter.com/jwa\\_kawakami](https://twitter.com/jwa_kawakami)

ご意見・ご感想はこちらへ  
e-mail: [somu@lily.ocn.ne.jp](mailto:somu@lily.ocn.ne.jp)

## 川上ダム堤体コンクリート30万 $m^3$ 打設達成!

川上ダムでは、令和元年9月20日(金)から堤体コンクリート打設を開始し、その後、令和2年2月4日(火)に打設10万 $m^3$ 、5月22日(金)に打設20万 $m^3$ 、そして9月4日(金)無事に打設30万 $m^3$ を迎えることが出来ました。川上ダム堤体コンクリート総量約45万 $m^3$ (堤高84m)に対して30万 $m^3$ (約46m)の打設を達成しましたので、残りは約15万 $m^3$ となります。

当日は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から3密(密閉、密集、密接)を避け、機構職員、工事関係者の少人数が見守る中、タワークレーンで運ばれてきたコンクリートの投入からバイバックによる入念な締固めまでのコンクリート打設作業を行い、30万 $m^3$ の打設を達成しました。

次の節目である40万 $m^3$ の打設達成に向け、引き続き、安全第一に工事を進めてまいりますので、川上ダム建設事業へのご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。



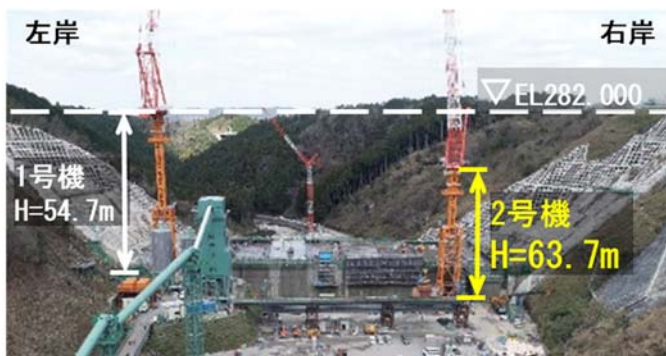
打設30万 $m^3$ を祝う若手機構職員

### タワークレーンが高くなりました!

川上ダム建設工事のシンボリック的存在であるタワークレーン1号機・2号機のうち、2号機を高くしました。

タワークレーンは、川上ダム堤体コンクリート打設で使用する設備として、令和元年7月10日(水)に1号機、8月9日(金)に2号機を設置しており、打設の進捗により大きくなった堤体に併せてタワークレーンの高さを令和2年8月7日(金)から16日(日)にかけて約30m高くしました。

1号機は、年明けに約21m高くし、最終打設まで使用します。



タワークレーン2号機高さ変更前(令和2年4月)



タワークレーン2号機高さ変更後(令和2年8月)

【工事課 村上一徳】

# 川上ダム周辺整備計画を策定しました

8月26日(水)に6回目となる川上ダム周辺整備懇談会を当建設所ふれあいホールで開催し、これまでの川上ダム周辺整備懇談会でいただいたご意見を踏まえ、右岸天端広場、左岸天端広場、<sup>かみがわほら</sup>上川原眺望広場及び前深瀬川流入部エリアの整備対象4ヶ所の「川上ダム周辺整備計画」を策定しました。

管理棟がある右岸天端広場では、「社会勉強の場および集い・憩いの場」をテーマにダムの役割を紹介するパネル、休憩や散策ができるベンチや芝生広場などを整備していきます。左岸天端広場では「環境学習の場」をテーマに植栽エリアを設け、川上ダム周辺で見られる樹木を植樹していきます。ダム湖面眺望の場となる上川原眺望広場には旧川上集落の状況の分かるパネルなどを整備していきます。前深瀬川流入部エリアでは「親水エリア」をテーマに河原にアクセスできる散策路や親水池などを整備していきます。

今年度下半期より、令和4年度の完成に向けて周辺整備施設の工事に順次着手していきます。平成29年7月の第1回開催から多くのご意見いただきました青山支所管内の住民自治協議会会長、川上区長、伊賀川漁業協同組合代表者並びに伊賀市の皆さまに拝謝いたします。

【調査設計課 水野正明】



右岸天端広場の整備イメージ



左岸天端広場の整備イメージ



上川原眺望広場の整備イメージ

## ダムの石に思いをのせて...

2020年9月号でご紹介した「風と土のふれあい芸術祭 in 伊賀2020」の続報をお届けします。

この作品は、国内外で活躍されている作家ノブコ・ウエダさんが建設現場に残された石垣などの、かつての生活の痕跡からインスピレーションを受け、川上ダム建設の為に立ち退かざるを得なかった方々が舟に乗って新天地に向かう様子やその地の思いを、川上ダム建設工事で掘削した石を使って表現しているそうです。

当建設所職員も採取のお手伝いをさせていただいた川上ダム建設工事で掘削した石が、ノブコ・ウエダさんの手によって素晴らしい作品へと生まれ変わろうとしています。

今回ご紹介した作品はまだ途中段階で、これからさらにいろいろな思いが加わった作品になります。

伊賀市矢持地区市民センターでは、10月17日まで作品の制作段階も自由に見学できるとのことです。皆さまもぜひ作品の思いを直に感じてみてはいかがでしょうか。

【工事課 藤澤大志】



川上ダムの石を使った作品（制作中）



# インターンシップ(就業体験)報告



水資源機構では、就業体験を通じて学校では体験できない専門分野や技術に触れていただき、進路・就職の視野を広げていただくことを目的にインターンシップ生(就業体験生)を受け入れており、当建設所では今年の夏に3名のインターンシップ生を受け入れました。この3名の方からいただいた就業体験談をご紹介します。

この度、川上ダム建設所のインターンシップに参加させていただいた中京大学工学部電気電子工学科4年の玉腰敦也と申します。昨年の夏に川上ダムの建設現場を見学させていただいた時にダムの建設現場の迫力に感動し、実際にどのような仕事をしているのか気になったためインターンシップに参加させていただきました。

実習では電気通信職の業務を中心に、川上ダム建設所内の電気設備の点検、雨量計、水位計の巡回、積算業務や放流警報装置の設計など幅広い範囲の業務を体験させていただきました。これらの業務を通じて、ダムを建設するためには細かい調査や手続きが必要で、とても責任のある仕事だということが分かりました。また、ダムを建設するという事は近隣住民との関係や、生態系を壊さないという自然への配慮が大切だということを学びました。



真剣な表情で点検する玉腰さん(右)

あっという間の5日間でしたが、今回の貴重な経験を残りの大学生活や進路選択に活かしていきたいと思います。【中京大学 玉腰敦也さん】

近畿大学工業高等専門学校都市環境コース土木系からインターンシップでまいりました松本彩菜と申します。元々ダムに興味があり、近くのダムに行ってイベントや見学会などに参加させていただいて、以前見学会に参加させていただいた川上ダムがどうなっているのか、また建設中のダムはどのような仕事に関わって造られていくのかがとても気になったのでインターンシップに参加させていただきました。

研修では、ダムの目的やできるまでにどのようなことをするかなどを聞き、実際に現場を見学させていただいたり、仕事の一部を体験させていただいたりしました。地域の方々との協力や自然への配慮がダムを造る上で重要であるということが分かりました。また、建設中と建設後のダムの違いを学ぶという貴重な体験をさせていただきました。

1週間の研修期間で様々な方々にご指導していただき、ダムへの知識や興味がより深まりました。この経験をこれからの勉学に活かしていきたいと思います。また、ダムについてさらに勉強して理解を深めていきたいです。



岩盤の堅さを調べる松本さん

【近畿大学工業高等専門学校 松本彩菜さん】

大阪市立大学工学部都市学科から大学のインターンシップでまいりました関本将貴と申します。水やダムに関して興味があり、実際どのような仕事をされているのか気になったため参加させていただきました。

実習では概要説明から工事現場の見学や、オオサンショウウオの測定、特定外来植物の駆除、ダム堤体の安定計算を行いました。また、完成している比奈知ダムと青蓮寺ダムの見学にも行くことで建設途中の川上ダムとのつながりを比較することができました。



監査廊内

ダム管理を体験する関本さん(右)

1週間という短い間でしたが、仕事内容だけでなく、進路のことなど多くの方と色々なお話ができ、本当に貴重な経験になりました。そしてこの経験を無駄にせずこれからの活動に活かしていきたいと思いました。また、初めてのインターンシップが川上ダム建設所で良かったと思いました。さらに、完成までにもう一度川上ダムを訪れたいという気持ちにもなりました。【大阪市立大学 関本将貴さん】

## 常用洪水吐き修理用ゲートの工場製作が完了!

高さ約6m×幅約5m×奥行き約1mある常用洪水吐き修理用ゲートの工場製作が完了しました。普段湖面上に吊ってある修理用ゲートは、放流管内部や主ゲートをメンテナンスするために、放流管呑口部まで下げて内部の水を抜く際に使用します。

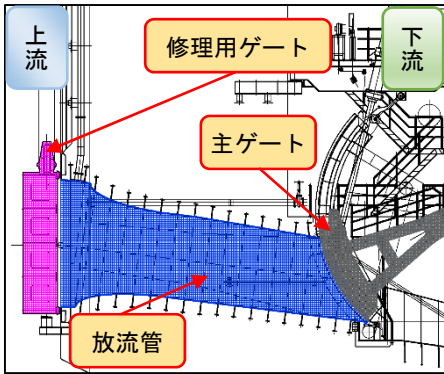
工場では、寸法確認のほか、2分割されているゲートが現場で再現できるかを確認する仮組立試験や垂直に吊り上げられるかを確認する吊り試験を行いました。

堤体への運び込みは、上流仮締切近くの現場ヤードで組立および溶接による一体化を行ったのち、11月頃にタワークレーンによって堤体上流へと運び込む予定です。組立および溶接のようすは、11月上旬頃から「WELCOME 川上ダム観眺台」で観ることができますので、是非お越しくださいませ。

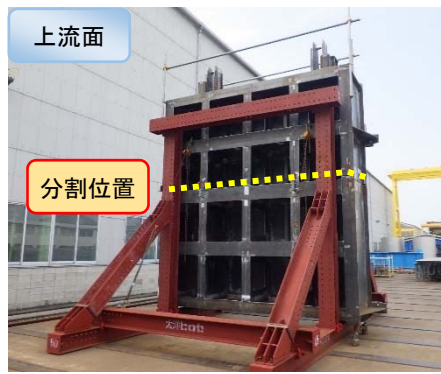
試験装置



吊り試験のようす



修理用ゲートの全閉位置



仮組立試験のようす (上流面)



仮組立試験のようす (下流面)

### ~本体外工事の進捗状況~

完了

施工中

未実施

#### 転流工

H30.4

仮排水路  
トンネル

H30.9

仮締切工

#### 基礎掘削

H31.4

#### 堤体打設・基礎処理

現在

堤体打設進捗率 65.8% (8月末時点)  
基礎処理進捗率 22.9%

#### 試験湛水

R3.10

完成!

(R5.3予定)

【機械課 下園英世】

## 川上ダム工事現場見学会のご案内

川上ダムでは、事業に対する理解や興味をより深めていただくため、毎月第3日曜日に午前・午後の二部構成で、工事現場見学会を開催中です。

【第23回】令和2年10月18日(日)  
(第3日曜日に開催します!)

【第24回】令和2年11月15日(日)  
(10月1日(木)より募集開始予定!)

満員御礼

## イベントのお知らせ

### 伊賀上野 灯りと忍びの城下町

- ・開催日: 10月10日(土)・11日(日)
- ・会場: 上野天神宮・伊賀市上野中町周辺
- ・問合せ先: 上野商工会議所  
TEL: 0595-21-0527 [平日]

### 上野天神祭

- ・開催日: 10月23日(金)~25日(日)
- ・会場: 上野天神宮・伊賀市上野中町周辺
- ・問合せ先: 上野天神祭地域振興実行委員会※平日のみ  
TEL: 0595-21-0527  
一般社団法人 伊賀上野観光協会  
TEL: 0595-26-7788

## 編集後記

朝夕はめっきり涼しくなり秋の風が感じられる季節となりましたが、皆さまはいかがお過ごしでしょうか。

筆者は、秋といえば「紅葉狩り」と「スポーツの秋」を思い浮かべます。今年8月に購入したばかりのランニングシューズを履いて、伊賀の紅葉と運動を楽しみたいと思います。

### 【広報誌発行事務局】

- |     |            |           |
|-----|------------|-----------|
| 編集長 | 淵上 (所長)    |           |
| デスク | 堀口 (総務課長)  | 渡辺 (工務課長) |
| 記者  | 山口 (総務課)   | 近藤 (用地課)  |
|     | 北爪 (調査設計課) | 戎谷 (環境課)  |
|     | 山田 (工務課)   | 渡邊 (工事課)  |
|     | 下園 (機械課)   |           |